

ツツジ・シャクナゲ大図譜 日本の野生種を求めて

牧野記念庭園記念館（練馬・東大泉）

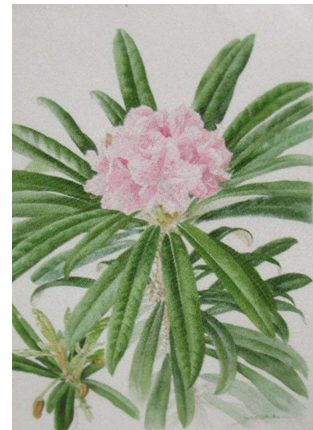
2021.10.02～12.05



本展は、植物画家「太田洋愛」(1910～1988)の水
彩画と線画で構成される原画を初公開する企画展
で、着色の全形図が1ページを飾り、続くページ
に副画として部分図が収載され、そのなかで花芽
と葉芽(冬芽)・果実の線画を弟子「浅野ひさよ」
が担当して作成された作品も展示されている。

「富樫誠」(1911～1998)は、南は沖縄・石垣島
から北は北海道・根室まで各地に生育する“野性
のツツジとシャクヤク”を求めて収集に奔走した
植物研究者で、図譜は10年以上の歳月を費やし
て、成果を『原色・日本産ツツジ・シャクヤク大
図譜』(1981年誠文堂新光社)より出版している。

本書には、個々の植物に関する分布や研究史などの解説や自生地で開花して
いる生態写真も掲載され、野生の状態がよくわかるように工夫されている。



ゲンカイツツジ（玄海躑躅）中国地方や対馬などの限られた地域に分布 左
葉は楕円形で長さは2.5～6.0cm 幅1.5～3.0cm、葉の両面に鱗状毛があり、
花は径3～4cmの淡紅紫色、雄蕊は10本、子房には鱗状毛が密生する。

オンツツジ(雄躑躅) 紀伊半島、四国、九州、韓国・済州島に分布 中
葉は卵円形、長さ5～9cm 幅4～6cm、葉柄には淡褐色の長毛が密生し、花
径は4～5cmの朱色、雄蕊は10本子房には褐色の長毛が密生する。

ホソバシャクヤク 細葉石楠花(別名エンシュウシャクナゲ) 右
葉は長さ7～18cm程で幅1～2cmの狭長楕円形、葉裏は綿状毛が厚く密生
して、花径4～5cmの紅紫色、雄蕊は10本、子房には褐色毛が密生する。